

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター 主催

ジャン・ジュネのテキストに基づくダンス公演『恋する虜』のためのワーク・イン・プログレス

ジュネへ応答する8日間

2007年3月8日(木)～15日(木)

京都芸術劇場 studio21(京都造形芸術大学内)

【参加アーティスト】

岩下徹 砂連尾理 白井剛 隅地菜歩 寺田みさこ 山田せつ子(以上 振付家・ダンサー)

伊藤高志(映像作家) 杉山至(舞台美術家) ワークショップ参加メンバー 他

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センターでは、ダンサー・コレオグラファーで主任研究員(本学教授)の山田せつ子を中心に、フランスの作家ジャン・ジュネ(1910-86)の後期作品に基づくダンス公演『恋する虜』に向けて、「創作」と「研究」が緊密に結合した共同プロジェクトを展開しています。単に物語を素材や口実にしてダンス作品をつくるのではなく、ジュネの言葉からどんな身体性や思考の運動を読み取ることができるのか、そしてそれを現在の私たちが置かれている社会的、歴史的、政治的な状況へとどう結びつけていくことができるのかを実践的に模索し、アクチュアルな考察と問いかけを通して、現代におけるダンス表現の根源的な可能性を見出していこうとする試みです。

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター 主催

ジャン・ジュネのテキストに基づくダンス公演『恋する虜』のためのワーク・イン・プログレス — ジュネへ応答する8日間 —

今回2007年3月には、約一年にわたり取り組んできた成果をこのプロジェクトの中間発表として、8日間をかけて様々なプログラムを発表します。(1)ダンスのプレゼンテーション、(2)映像・美術とダンスの公開実験、(3)ワークショップの公開、(4)トークセッションなど、これまで辿って来たプロセスにそのまま観客の皆さんに触れて頂き、更にこのプロジェクトを加速させ、来年度にはダンス作品として発表出来ることを目指しています。

※これまでの期間、本プロジェクトは学外の研究者の方々からの提言、助言を頂き進めてきました。

ゲスト研究者：轟銅哲氏(現代フランス文学・思想／一橋大学) 宇野邦一氏(現代フランス文学・思想／立教大学)

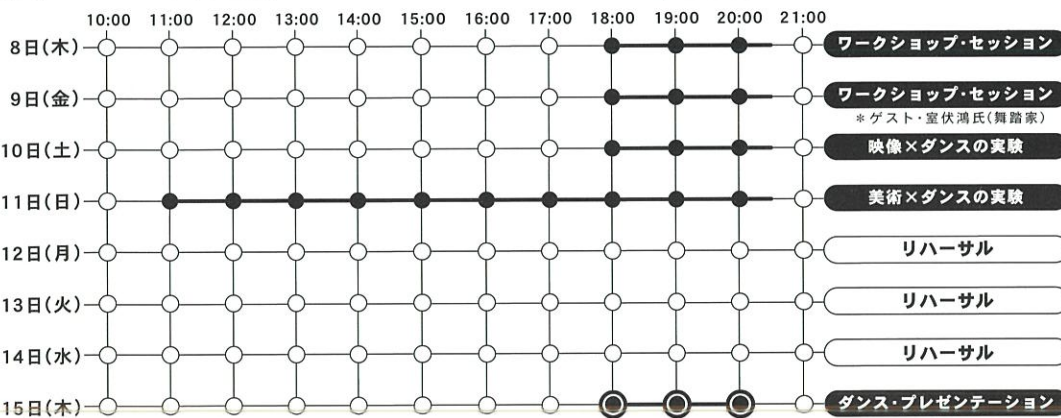
【轟銅氏は2005年12月の研究会、2006年11月の公開セミナーに、宇野氏は2006年6月の研究会、2006年11月の公開セミナーにご参加いただきました。】

【日時】2007年3月8日(木)～15日(木) 【会場】京都芸術劇場 studio21(京都造形芸術大学内)

【参加アーティスト】岩下徹 砂連尾理 白井剛 隅地菜歩 寺田みさこ 山田せつ子(以上 振付家・ダンサー)
伊藤高志(映像作家) 杉山至(舞台美術家) ワークショップ参加メンバー

【参加研究員】八角聡仁(京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター 主任研究員)

【スケジュール】 **公開** …皆様に見学していただくプログラムです。(途中入退場自由) **非公開** …ご入場できないプログラムです。



【料金(要予約/先着順)】「ワークショップ・セッション」「映像・美術×ダンスの実験」の見学(定員30名)…各回 500円

「ダンス・プレゼンテーション」観覧…一般2,500円/学生&ユース(25歳以下)2,000円

[学生&ユース券は当日受付にて年齢の分かるものをご提示ください] *未就学児のご入場は御遠慮ください。

通し券…3,500円(均一) *美術ワークショップは除く

【内容】

【ワークショップ・セッション】 ● 8日、9日/両日 18:00～20:30

ジャン・ジュネのテキストとの関わりで見出したダンスについての思考と実践を、ワークショップという形式で参加ダンサーが互いに提案します。ワークショップには、11月の公開セミナーを経て関心を寄せた関西のダンサー達も参加します。ワークショップ終了後にはアーティスト・トークを実施し、意見交換を行います。*見学のみのプログラムです。現在ワークショップ参加者は募集していません、ご了承下さい。

◎9日の回にはゲスト・アーティストとして舞踏家の室伏鴻氏をお招きします。

【映像×ダンスの実験】 ● 10日/18:00～20:30

ジャン・ジュネのテキストを基に制作した映像の投影を様々な空間設定で実験します。また、その実験の中で、実際のダンスがどのように関わることが出来るかを実践します。実験終了後には、アーティスト・トークを実施し、意見交換を行います。

【美術×ダンスの実験】 ● 11日/11:00～20:30

これまでの研究会で立ち上がってきた、ジャン・ジュネのテキストとダンスに関わる美術を実際に配置し、ダンスの空間を造り上げる実験を、舞台美術家杉山至のワークショップ形式で行ないます。また、その実験の中で、実際のダンスがどのように関わることが出来るかを実践します。

【見学の方以外にワークショップ参加者を募集します】

- 定員: 10名
- 対象: 舞台美術・空間造形に興味のある方(特に今後もこのプロジェクトに継続して関わってみたい方を優先します)
- 持ち物・服装: 動きやすい服・運動靴など作業可能な服装、スケッチブック
- ◎参加費: 1,000円
- ◎申込方法: 氏名・連絡先・経歴・応募動機を明記の上、舞台芸術研究センターまでメールもしくは郵送でお申し込みください
- ◎申込〆切: 2月15日(木)必着
- ◎参加の可否: 2月下旬に舞台芸術研究センターよりご連絡します

【実験のまとめのダンス・プレゼンテーション】 ● 15日/18:00～

8日間の様々なトライアルの成果として、また今年度の約一年にわたる取り組みの成果として、ダンス・映像・美術が相互に関わるプレゼンテーションを行います。プレゼンテーション終了後には、アーティスト・トークを行い観客の皆さんとも意見交換を行います。ここから更に可能性を模索し、来年度に計画されている作品制作へとつなげてゆきます。

【申し込み方法】 1月22日(月)受付開始

◎ 京都芸術劇場チケットセンター(窓口販売・電話予約) tel 075-791-8240(平日10～17時) / e-mail ticket@kuad.kyoto-art.ac.jp

◎ JCDNダンスリザーブ http://dance.jcdn.org/

【主催・お問い合わせ】

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 京都造形芸術大学内 tel 075-791-9437 / e-mail info@k-pac.org / URL http://www.k-pac.org/

京都芸術センター制作支援事業

水底を手探りで探し求めていくようなこのプロジェクトにも、ときに恩寵のような瞬間があり、ほんのささやかな発見に目を輝かせ、糸を手繰るようにジュネの輪郭と向かいあって来ました。様々な人々との出会いが生まれ、羊歯が伸びるようにダンス、映像、美術、光、音楽そして言葉の往来がはじまりました。11月の公開セミナーにも多くのご意見を頂戴し励みになりました。ジュネがジャコメッティの粗末なアトリエで、揺れるパレスチナの土地で見つめたものに応答できる身体がどう浮かび上がってくるか、3月皆様と共有する場にむけて作業を進めています。

山田せつ子

ジャン・ジュネ(1910.12.19～1986.4.15)

パリで生まれ、7ヶ月で母親に遺棄される。父は不詳。国境を越えて転々と放浪しながら窃盗などの罪を重ね、在監中に詩集『死刑囚』(1942)を出版。以後『花のノートダム』『薔薇の奇蹟』『葬儀』『泥棒日記』など、犯罪者や同性愛者の立場を公然と引き受けた小説群により、コクトー、サルトルらの称賛を受け作家としての名声を獲得。6年間の沈黙の後、1955年から戯曲『黒んぼたち』『バルコン』『屏風』などを発表し、その後の前衛劇の展開に大きな影響を与える。1968年以降はアメリカ黒人解放闘争、パレスチナ解放闘争などに加担しながら特異な政治的ルポタージュを発表。パレスチナ滞在期の追憶を中心とする長編回想記『恋する虜』が絶筆となった。

会場: 京都芸術劇場studio21(京都造形芸術大学内) 〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

アクセス

- JR京都駅、阪急河原町駅、京阪三条駅から
→ 京都市バス 5番岩倉行き乗車、上終町・京都造形芸大前下車 (京都駅から約50分)
- 市営地下鉄丸太町駅、北大路駅から
→ 京都市バス204循環乗車、上終町・京都造形芸大前下車 (約15分)
- 京阪電鉄出町柳駅から
→ 叡山電車に乗り換え、茶山駅下車、徒歩10分。
→ タクシーで10分。

*駐車場はございません。

